

龜掛川慈隆

淨土

儒僧。

文化十一年下野國日光生れ、明治五年十

月二十四日歿（一八五一—一八七三）。號俊乘坊、岩山隱士、洛山、淨輪坊、靜

慮庵、靜慮隆、隆等。天保二年日光山新宮別當安養院慈禪に就て得度。

また佐藤一齋の門に入りて儒學を學ぶ。弘化四年日光淨土院住職とな

り、僧侶の教育、貧民の救済にと當る。夙に勤皇を唱へて江戸に赴く。

のち相馬藩に登用せられ、藩士の教育、民政に従事。漢詩の他、和歌

も能くした。明治二十七年大僧正追贈。

『大僧正慈隆』（飯塚清通・吉田宇之助共編、明治二十七年十一月）

十日と野稱刊）がある。